

日本看護協会認定看護管理者教育機関

# 令和5年度 認定看護管理者教育課程

ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル

## 募集要項

★申込はWeb限定  
★必要書類は郵送

□ **ファーストレベル 第1回 開講期間**

令和5年5月10日(水)～6月14日(水)

(上記日程のうち20日間程度)

□ **ファーストレベル 第2回 開講期間**

令和5年11月6日(月)～12月15日(金)

(上記日程のうち20日間程度)

□ **セカンドレベル 開講期間**

令和5年8月29日(火)～11月1日(水)

(上記日程のうち34日間程度)

□ **サードレベル 開講期間**

令和5年6月16日(金)～10月6日(金)

(上記日程のうち34日間程度)

## <教育理念>

多様なヘルスケアニーズを持つ個人・家族及び地域住民に対して、質の高い看護サービスを提供することをめざし、様々な状況に対応できる看護管理者を育成する。以って、看護の水準の維持及び向上に寄与し、保健医療福祉に貢献する。

### ① ファーストレベル

#### <教育目的>

看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。

#### <到達目標>

- ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。
- 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。
- 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。

#### <受講要件>

- 日本国の看護師免許を有する者。
- 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。
- 管理業務に関心がある者。

#### <教育課程> ( )日本看護協会規定時間

### ② セカンドレベル

#### <教育目的>

看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。

#### <到達目標>

- 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。
- 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。

#### <受講要件>

- 日本国の看護師免許を有する者。
- 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。
- 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。  
※副看護部長相当の職位とは、保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す。

#### <教育課程> ( )日本看護協会規定時間

### ③ サードレベル

#### <教育目的>

多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。

#### <到達目標>

- 保健医療福祉の政策動向を理解し、それらが看護管理に与える影響を考えることができる。
- 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。
- 経営管理の視点に立ったマネジメントを展開できる。

#### <受講要件>

- 日本国の看護師免許を有する者。
- 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。
- 認定看護管理者教育課程セカンドレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者。

#### <教育課程> ( )日本看護協会規定時間

教科目(時間)	単元	教科目(時間)	単元	教科目(時間)	単元
ヘルスケアシステム論Ⅰ 15(15)	1) 社会保障制度概論 2) 保健医療福祉サービスの提供体制 3) ヘルスケアサービスにおける看護の役割	ヘルスケアシステム論Ⅱ 15(15)	1) 社会保障制度の現状と課題 2) 保健医療福祉サービスの現状と課題 3) ヘルスケアサービスにおける多職種連携	ヘルスケアシステム論Ⅲ 36(30)	1) 社会保障制度・政策の動向 2) 看護制度・政策の動向 3) ヘルスケアサービスの創造
組織管理論Ⅰ 15(15)	1) 組織マネジメント概論 2) 看護実践における倫理	組織管理論Ⅱ 36(30)	1) 組織マネジメントの実際 2) 看護管理における倫理	組織管理論Ⅲ 36(30)	1) 組織デザインと組織運営 2) 組織における倫理
人材管理Ⅰ 30(30)	1) 労務管理の基礎知識 2) 看護チームのマネジメント 3) 人材育成の基礎知識	人材管理Ⅱ 45(45)	1) 人事・労務管理 2) 多職種チームのマネジメント 3) 人材を育てるマネジメント	人材管理Ⅲ 15(15)	1) 社会システムと労務管理 2) 看護管理者の育成
資源管理Ⅰ 15(15)	1) 経営資源と管理の基礎知識 2) 看護実践における情報管理	資源管理Ⅱ 15(15)	1) 経営資源と管理の実際 2) 看護管理における情報管理	資源管理Ⅲ 30(30)	1) 経営戦略 2) 財務管理 3) 組織的情報管理
質管理Ⅰ 15(15)	1) 看護サービスの質管理	質管理Ⅱ 30(30)	1) 看護サービスの質保証 2) 安全管理	質管理Ⅲ 30(30)	1) 経営と質管理 2) 組織の安全管理
統合演習Ⅰ 15(15)	1) 演習	統合演習Ⅱ 51(45)	1) 演習 2) 実習	統合演習Ⅲ 51(45)	1) 演習 2) 実習
計 105		計 192		計 198	

## <修了要件>

認定看護管理者カリキュラム基準に定める全教科目の修得をもって認定看護管理者教育課程の修了とする。  
教科目の修了とは、以下の項目を満たした場合をいう。

- 各教科目の所定の時間数の4/5以上出席していること。
- 各教科目のレポート評価がC以上(A・B・C・Dの4段階)であること。  
A:80点~100点、B:70点~79点、C:60点~69点、D:59点以下

〈認定看護管理者教育課程について〉

認定看護管理者とは「日本看護協会認定看護管理者認定審査に合格し、管理者として優れた資質を持ち、創造的に組織を発展させることができる能力を有すると認められた者」をいいます。日本看護協会では、認定看護管理者に必要な教育課程を、ファーストレベル、セカンドレベル及びサードレベルの3課程と定めています。

〈募集概要〉 ※日程については現在調整中のため、変更になることがあります。

期 間	<p>✔ <b>ファーストレベル 第1回 開催期間</b> 令和5年5月10日(水) ～6月14日(水) 上記日程のうち20日間程度</p>	<p>✔ <b>セカンドレベル開催期間</b> 令和5年8月29日(火) ～11月1日(水) 上記日程のうち34日間程度</p>	<p>✔ <b>サードレベル開催期間</b> 令和5年6月16日(金) ～10月6日(金) 上記日程のうち34日間程度</p>
	<p>✔ <b>ファーストレベル 第2回 開催期間</b> 令和5年11月6日(月) ～12月15日(金) 上記日程のうち20日間程度</p>	<p>※日程の詳細は、受講決定の際にお知らせいたします。</p>	<p>※日程の詳細は、受講決定の際にお知らせいたします。</p>
	<p>✔ <b>申込期間</b> 第1回 / 第2回 令和5年3月3日(金) ～3月17日(金)</p>	<p>✔ <b>申込期間</b> 令和5年3月3日(金) ～3月24日(金)</p>	<p>✔ <b>申込期間</b> 令和5年3月3日(金) ～3月24日(金)</p>
<p>※ <b>●申込は Web で ●必要書類は郵送、いずれも申込期間内に 申込完了・必着のこと</b></p>			
	<p>✔ <b>受講決定</b> 第1回 / 第2回 4月上旬頃</p>	<p>✔ <b>受講決定</b> 4月下旬頃</p>	<p>✔ <b>受講決定</b> 4月下旬頃</p>
定員	各 80名	50名	30名
受講料	<p>&lt;第1回/第2回&gt; 日本看護協会 会員 115,500円 日本看護協会 非会員 231,000円 (レポート審査料を含む・税込)</p>	<p>日本看護協会 会員 217,800円 日本看護協会 非会員 435,600円 (レポート審査料を含む・税込)</p>	<p>日本看護協会 会員 277,200円 日本看護協会 非会員 554,400円 (レポート審査料を含む・税込)</p>
	<p>&lt;受講修了後&gt; 修了証明申請料 16,500円 (税込)</p>	<p>&lt;受講修了後&gt; 修了証明申請料 16,500円 (税込)</p>	<p>&lt;受講修了後&gt; 修了証明申請料 16,500円 (税込)</p>
提出書類	<p>1. 受講動機と課題 2. 受講要件証明書【様式9】 3. 長3サイズの返信用封筒 (返信先を記載し、<b>94円</b>切手を貼付のこと)</p> <p>「勤務証明書(様式8)」「受講要件証明書(様式9)」「受講辞退届(様式10)」は東京都看護協会のホームページからダウンロードしてください。</p>	<p>1. 小論文 2. 受講要件証明書【様式9】 3. 受講要件確認の書類 (①・②のうちどちらか1つ) ①ファーストレベル修了証明書のコピー または ②勤務証明書【様式8】 4. 長3サイズの返信用封筒 (返信先を記載し、<b>94円</b>切手を貼付のこと)</p>	<p>1. 小論文 2. 受講要件証明書【様式9】 3. 受講要件確認の書類 (①・②のうちどちらか1つ) ①セカンドレベル修了証明書のコピー または ②勤務証明書【様式8】 4. 長3サイズの返信用封筒 (返信先を記載し、<b>94円</b>切手を貼付のこと)</p>

	ファーストレベル	セカンドレベル	サードレベル																								
提出書類	<p><b>&lt;3 課程共通&gt;</b></p> <p>書式：● A 4 用紙 (縦) に横書き            ● <u>横 40 文字×縦 42 行に設定</u>            書体：● MS 明朝、10.5 ポイントを使用            ● 余白は上下左右 20mm</p> <p>1 行目：タイトル (レベル別に下記の <b>タイトル</b> を記載)            2 行目：施設名・職位・氏名 (右揃え)            3 行目：本文            文末：文字数を明記</p> <p>その他：「である」調で記載のこと</p>		<p>【記載例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 行目 2 行目 3 行目から</p> <p style="text-align: center;">タイトル 施設名・職位・氏名 ー本文ー</p> <p style="text-align: right;">(文字数)</p> </div>																								
	<p><b>&lt;ファーストレベル課題&gt;</b></p> <p>▶ファーストレベル受講にあたり受講者自身の【受講動機】と【課題】を述べてください。</p> <p><b>タイトル</b></p> <p>「ファーストレベルの受講動機と課題」</p>	<p><b>&lt;セカンドレベル小論文課題&gt;</b></p> <p>▶<b>自部署</b>の看護管理上の課題について、職位を明確にした上で自身の考えを述べてください。</p> <p><b>タイトル</b></p> <p>「<u>自職位</u>における<b>自部署</b>の看護管理上の課題」</p>	<p><b>&lt;サードレベル小論文課題&gt;</b></p> <p>▶<b>自施設</b>の看護管理上の課題について、職位を明確にした上で自身の考えを述べてください。</p> <p><b>タイトル</b></p> <p>「<u>自職位</u>における<b>自施設</b>の看護管理上の課題」</p>																								
	<p><b>&lt;ファーストレベル&gt;</b></p> <p><b>字数</b> <u>400字以内</u> (本文のみ)</p>	<p><b>&lt;セカンドレベル・サードレベル共通&gt;</b></p> <p><b>字数</b> <u>1,000 ~ 1,200 字以内</u> (本文のみ)</p> <p>※引用文献のみ記載してください。参考文献は不要です。</p>																									
	<p><b>&lt;ファーストレベル&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 認定看護管理者教育課程運営・審査委員会において、受講動機と課題および応募書類による審査を行います。</li> </ul> <p><b>&lt;セカンドレベル・サードレベル&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 認定看護管理者教育課程運営・審査委員会において、小論文(下記評価基準参照)と応募書類による審査を行います。</li> </ul> <p><b>&lt;小論文評価基準&gt;</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>評価の視点</th> <th>配点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>課題の理解</td> <td>1) 小論文の課題(テーマ)を正しく理解している。</td> <td>10 点</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>管理的視点</td> <td>1) 管理的視点で述べている。 2) 看護管理の経験を具体的に述べている。</td> <td>20 点</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>論述力</td> <td>1) テーマや自身の職位に応じた論旨である。 2) 論点・論旨が明確で具体的である。 3) 自身の言葉で述べられている。 4) 語法や言葉の使い方等が適切で間違いがない。 5) 文章の構成が適切である。</td> <td>50 点</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>記述の適切性</td> <td>1) 規定に沿って記述されている。(書式設定等) 2) 誤字・脱字など表記に誤りがない。 3) 記述に倫理的配慮がある。</td> <td>20 点</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td>合計 100 点</td> </tr> </tbody> </table>					項目	評価の視点	配点	1	課題の理解	1) 小論文の課題(テーマ)を正しく理解している。	10 点	2	管理的視点	1) 管理的視点で述べている。 2) 看護管理の経験を具体的に述べている。	20 点	3	論述力	1) テーマや自身の職位に応じた論旨である。 2) 論点・論旨が明確で具体的である。 3) 自身の言葉で述べられている。 4) 語法や言葉の使い方等が適切で間違いがない。 5) 文章の構成が適切である。	50 点	4	記述の適切性	1) 規定に沿って記述されている。(書式設定等) 2) 誤字・脱字など表記に誤りがない。 3) 記述に倫理的配慮がある。	20 点			
	項目	評価の視点	配点																								
1	課題の理解	1) 小論文の課題(テーマ)を正しく理解している。	10 点																								
2	管理的視点	1) 管理的視点で述べている。 2) 看護管理の経験を具体的に述べている。	20 点																								
3	論述力	1) テーマや自身の職位に応じた論旨である。 2) 論点・論旨が明確で具体的である。 3) 自身の言葉で述べられている。 4) 語法や言葉の使い方等が適切で間違いがない。 5) 文章の構成が適切である。	50 点																								
4	記述の適切性	1) 規定に沿って記述されている。(書式設定等) 2) 誤字・脱字など表記に誤りがない。 3) 記述に倫理的配慮がある。	20 点																								
			合計 100 点																								
選考方法	<p>※ 会員・非会員は受講者選考に影響しません。</p>																										

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">申込方法</p>	<p>●お申込みは<u>申込期間内</u>に『Webで申込み』いただき、『提出書類を協会宛に郵送』ください。          ※提出書類は、下記「応募書類チェックリスト」を参照ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Web申込みは、東京都看護協会ホームページからお申込みください。            ▶トップページ ⇒ (1)看護職の皆様へ ⇒ (2)認定看護管理者教育課程 ⇒ (3)研修一覧の順で進み、必要事項を登録してください。</li> <li>Web申込後、各レベルに必要な提出書類を<u>郵送</u>してください。様式は東京都看護協会ホームページ『各種ダウンロード』よりダウンロード可能です。</li> <li>セカンドレベル・サードレベルに申込まれる方の受講要件確認書類は、下記「応募書類チェックリスト」の①・②のいずれかです。</li> <li>受講の可否は返信用封筒で通知しますので、必ず返信先の宛先をご記入ください。</li> <li>日本看護協会の会員とは、<b>令和5年度の会員手続きが完了している方</b>です。令和4年度に会員でも<b>令和5年度の手続きがされていない場合は非会員扱い</b>となります。</li> <li>受講決定後に会員になられても、受講料は非会員価格となりますのでご注意ください。</li> <li>Web申込時の個人情報（旧姓になっていないか・住所変更）等、マイページの登録内容を最新の情報に更新してからお申込みください。<u>※Webと書類の内容が一致している事。</u></li> </ol>		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">郵送先</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>封筒左端に朱書きで「<b>〇〇レベル提出書類在中</b>」と明記してください。</li> <li>レターパックなど追跡可能な郵送方法をおすすめします。</li> <li>書類締切日は、申込期間最終日<b>必着</b>です。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">       〒160-0023        東京都新宿区西新宿四丁目2番19号        公益社団法人 東京都看護協会        教育部研修係     </div>		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">応募書類チェックリスト</p>	<p><b>●ファーストレベル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 受講動機と課題</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 受講要件証明書【様式9】</li> <li><input type="checkbox"/> 3. <b>94円</b>切手を貼付し宛先を記載した長3サイズ返信用封筒</li> </ul>	<p><b>●セカンドレベル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 小論文</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 受講要件証明書【様式9】</li> <li><input type="checkbox"/> 3. 受講要件確認の書類 (①・②のいずれか1つ)            ①ファーストレベル修了証明書のコピー            ②勤務証明書【様式8】</li> <li><input type="checkbox"/> 4. <b>94円</b>切手を貼付し宛先を記載した長3サイズ返信用封筒</li> </ul>	<p><b>●サードレベル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 小論文</li> <li><input type="checkbox"/> 2. 受講要件証明書【様式9】</li> <li><input type="checkbox"/> 3. 受講要件確認の書類 (①・②のいずれか1つ)            ①セカンドレベル修了証明書のコピー            ②勤務証明書【様式8】</li> <li><input type="checkbox"/> 4. <b>94円</b>切手を貼付し宛先を記載した長3サイズ返信用封筒</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">その他</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>受講料は期日までに納入してください。尚、納入された受講料は原則として返金いたしません。</li> <li>受講決定後に、氏名の変更・勤務先の変更があった場合は、研修開始前に必ずご連絡ください。</li> <li>当協会の個人情報管理規程に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。提出された個人情報に関しては、研修に伴う書類作成・発送に用い、この利用範囲を超えて個人情報を取り扱うことはいたしません。</li> <li>提出された書類は、返却いたしません。</li> <li>受講決定後に受講をキャンセルされる場合は、電話で連絡のうえ <u>受講辞退届【様式10】</u>を提出してください。</li> <li>認定看護管理者が在籍していない300床未満の医療機関、介護施設、訪問看護ステーションに対し、日本看護協会が支援事業を行っています。詳しくは日本看護協会のホームページをご確認ください。</li> </ol>		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">問合せ先</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆研修申込みに関する事    Tel : 03-6300-5584 (研修係)</li> <li>◆会員登録に関する事        Tel : 03-6300-5452 (会員係)</li> </ul>		

## よくある質問

**Q1. 令和5年度の入会手続きをしましたが、まだ会費を納入していません。受講の際には、会員価格になりますか？**

A：入会申込書を日本看護協会へ提出されていることが確認できた場合は、会員価格となります。代表者が取りまとめて手元にお持ちになっている等、入会申込書を提出されていない場合は、非会員価格となります。

**Q2. 他県の看護協会の会員です。研修を受講したいのですが、東京都看護協会の会員が優先で、他県の看護協会の会員は受講できないのでしょうか。**

A：受講要件を満たしている方は、どなたでもご応募いただけます。小論文と応募書類により受講者を選考しますので、東京都看護協会の会員を優先するということはありません。

**Q3. 看護師として5年以上の実務経験がありますが、現在の職場では3年しか勤務していません。看護師免許のコピーの提出では証明にはならないのでしょうか。**

A：看護の実務実践が5年以上あるということの証明が必要ですので、看護師免許のコピーでは代用できません。育児休暇や進学のための休職など、離職期間がある場合もありますので、前職・前々職等で受講要件証明書【様式9】に実務年数の証明をしてもらう必要があります。

**Q4. 受講要件証明書【様式9】・勤務証明書【様式8】の施設長名は、看護部長名でも良いですか。**

A：受講要件に関わるため、ご施設での証明が必要になります。施設長名と施設の公印が必要です。

**Q5. 2月の申込期間中は、実務経験が4年10カ月です。4月になると、実務経験が5年になりますが、実務経験5年以上として応募できますか。**

A：受講時に実務年数が5年以上であれば、応募していただくことは可能です。ただし、受講前に退職される方もおりますので、受講前に実務年数が5年以上であることを証明するために、受講要件証明書【様式9】を再度提出していただく場合があります。

**Q6. ファーストレベル・セカンドレベル修了証明書を紛失してしまいました。再発行は可能ですか。**

A：東京都看護協会のファーストレベル・セカンドレベルを修了している方の修了証明証の再発行は可能です。手続き方法は東京都看護協会のホームページを参照してください。なお、再発行には2週間程度の日数が必要になります。

**Q7. ファーストレベルは11月からスタートですが、現時点では参加できるかどうかわかりません。今回、申込みが出来なくても、後日追加募集はありますか。**

A：今回の応募期間内に応募いただいた方の中から、受講者を決定いたします。定員に満たない場合は、追加募集を行う場合があります。

**Q8. COVID-19の影響で開催が中止になる可能性はありますか？詳細について教えてください。**

A：COVID-19で外出制限等があった場合、Zoom（遠隔）を活用し講義や演習を開催いたします。その際は事前にご連絡を申し上げます。また、研修開催前にZoom受講環境として、パソコン準備（カメラ付）・Wi-Fi整備をお願いいたします。研修に必要な情報提供及び講師の資料等は「Google drive」を活用いたします（適宜、ご連絡をいたします）。  
Zoomによる研修の際は、必ず事前に、パソコンに『Zoom』アプリをインストールし、常に最新版にしてください。（スマートフォンでのご参加はできませんのでご了承願います）。

## 令和4年度『認定看護管理者教育課程』受講者の感想

### \*ファーストレベル受講者の感想

ほとんどの講師の授業内容が腑に落ちるものであり、非常に満足度の高い研修でした。研修会場も新しく、空調設備が整っており、とても良い環境で学習することが出来ました。

管理に必要な基本的な知識を学ぶことで、自分の知識不足や足元しか見えていなかったことに気づかされました。管理者として、自分にどのような役割が求められており、どのようにスタッフと接しなければならぬかを考えることができました。

研修を受講し、看護管理者としての自覚を持つことが必要であると再認識できました。自身の視野の狭さを痛感しましたが、看護管理者として広い視野を持ち俯瞰的に全体を捉えられるようにしていくことが必要と感じました。リーダーとしての基軸を持ち、意識化し言語化、明文化していけるように研修で学んだことを活かし看護管理実践に取り組んでいきたいです。

研修を受講し、沢山の学びと他施設の人との繋がりを得ることが出来ました。悩んだり、問題を抱えながら管理業務をするのは自分だけではないと実感しました。病棟に戻り、取り組みたい事や改善したいことが明確になりました。

### \*セカンドレベル受講者の感想

長い時間現場を離れたことにより自分としっかり向き合うことが出来、自分の行動や判断の仕方を変えていかなくてはいけないことを学びました。自身の管理実践の弱みが明確になり、変えなくてはならない部分だけではなく、やれていたこと・やっていたことに気づけたことは自分自身収穫でもありました。

ファーストレベルは週末だけ研修というスタイルで他機関で学び、座学・レポートが中心でグループワークも少なかったため、研修終了後の繋がりは一切ありませんでした。今回セカンドレベルではグループワークが多く、集合研修なので、今後も管理者として悩んだりした時に相談できる横の繋がりができました。

問題解決プロセスを学ぶことで、いつも悩んでいることに前向きな気持ちで取り組み、スタッフと看護を実践していくことができそうな気がする。セカンドレベルは、できれば師長になる前に習得することができると、より看護管理実践がスムーズにできるのではないかと感じる。

教員の先生からの「多様性を認める」「人と比べることはない」と支援して下さる言葉、姿勢が安心につながりました。

教育目標に対して講義内容が分かりやすくなっており、学習しやすかった。講師の先生、統合演習支援者の先生から多くのことを学ぶことができました。

### \*サードレベル受講者の感想

自分の管理者としての姿勢に向き合うことができました。多角的な視野や全体を俯瞰する視座を高くすることが必要と感じ、政策動向を捉え、強いリーダーシップを講師の先生方から学ぶことができました。

コロナ禍で8月にピークを迎えている中で感染対策を考慮し、集合研修を受講できたことに感謝しています。

多くの学びができたこと、多くの仲間ができたことにとっても感謝しています。レポートは大変でしたが、すごく楽しかったです。成長できた気がします。

令和5年度 認定看護管理者教育課程 募集要項  
ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル



〒160-0023 東京都新宿区西新宿四丁目2番19号  
TEL (03) 6300-5584 (研修係直通)  
URL <https://www.tna.or.jp/>